

2022 年 10 月 14 日（金）～10 月 15 日（土） 鬼怒沼湿原（2020m）&物見山（2113m）

鬼怒沼湿原と物見山には 2 年前にチャレンジしていますが、梅雨時の悪天候により途中で断念をしています。今回はそのリベンジとして紅葉も期待できる秋に計画しました。幸い 14 日、15 日は雨の心配はなく、気候も穏やかで予定通り決行することにしました。

日光市観光協会の公式サイトによれば、鬼怒沼湿原は鬼怒沼山南麓 2020m 前後の高層湿原に位置する大小 48 の泥炭層にできる池塘を浮かべた沼だそうです。湿原を散策した後には、物見山まで足を延ばし周りの山々を眺めます。

今回のもう一つの楽しみは、宿泊する奥鬼怒温泉「加仁湯」。5 本の源泉がかけ流しとのおうたい文句がうれしいです。

参加者は堀さん、池戸さん、田上さん、吉松の 4 人

レポート；吉松

初日：10月14日 金曜日 曇り 奥鬼怒温泉 加仁湯へ

東武特急リバティきぬ 105 号で鬼怒川温泉へ

池戸さんの隣で仲間のよう映っているご仁は、偶々隣り合わせた 79 歳の旅の道連れ
乗車当初から池戸さんと意気投合し、お二人は車内でず～と話しばなし！



9 時 35 分

鬼怒川温泉駅着

続いて路線バスで鬼怒沼温泉女夫淵（みょうとぶち）へ向かう予定が・・・

変なモシモシおじさんが我々に近づいてきて、女夫淵まで行くのかと聞いてきた。

1 人当たり x x x 円でバスより安い、しかも途中の観光をしながら走ってもバスより早く着くので利用しないかとのことであつた。バスの発進までの待ち時間が 40 分位あつたので、話に乗ることにした。

早い話が白タクなのだが、なかなかの物知りおじさんであちこちを観光して回ってくれた。



最初に車を止めたのは鬼怒川に作られた川治ダム

アーチ式では、国内４位の高さとのこと



続いては、「蛇王の滝」

道路わきから鬼怒川に流れ落ちる滝を望むことができる。



少しだけ紅葉も楽しめるスポットだ。

モシモシおじさんが「ここだけは見てくれ！」と勧めてくれたのが、紅葉の名所「瀬戸合峡」
深さ１００mの溪谷が２kmにわたって広がっている。旧道沿いでしか望めないのも、新しく整備された道路を走るバスからでは見ることができない。
「とちぎの景勝１００選」に選ばれている。



【閑話休題】モシモシおじさんは地元の人で、小さい頃はこの辺りの山に入ることもあったとのこと。

その頃の古老から、「クマに会って追いかけられたら下に向かって逃げろ！」と教えられたものだそう。クマの足は登りに強く、下りに弱いので逃げ切れるとのことだが、本当だろうか？



11時過ぎに女夫淵の駐車場に到着

一般車も路線バスも通行はここまで
白タク(写真中央)のお陰で40分も早く着くことができた。

平日の所為か、駐車している一般車はほんの僅かだった。



駐車場脇の東屋で早い昼食をとることにした。

*吉松は、駐車場に食堂もあるだろうと思って昼飯を持参しなかった。やむなく池戸さんと堀さんに泣きついて、恵んでもらった。

自分が作った計画書には“昼食持参”と、ちゃんと書いてあった。

かなり老化が進んだようだ。



11時30分、奥鬼怒温泉郷へ向けて出発

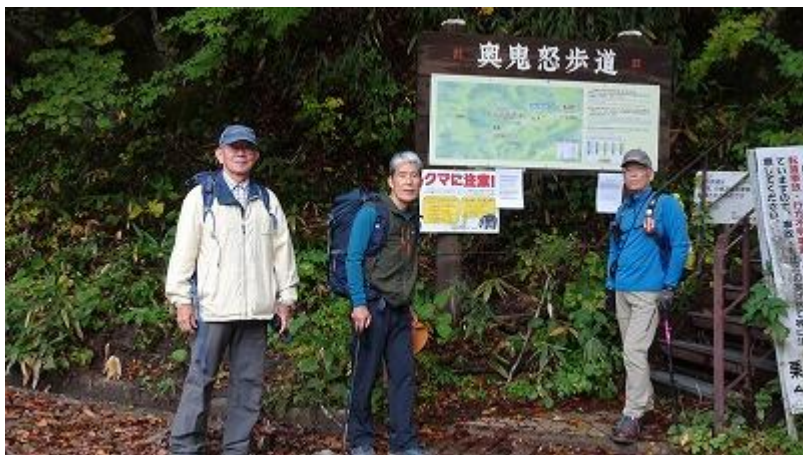
写真は、駐車場からすぐの鬼怒沼歩道入口

と言っても、この入口は看板だけで、実際は通行止め

堀さん、池戸さんによれば、2年前に来た時も既に通行止めだったそう。荒天のため道が崩れて、それ以降修復されていないらしい。鬼怒川に掛かる橋を渡った向こう岸の入り口から奥鬼怒歩道に入ることにした。



橋を渡って右岸へ・・・



ここが通行できる奥鬼怒歩道入り口

どうやらクマが出ることもあるらしい。



明日の登山に向けての足慣らしの為に、2時間ほど宿泊先の加仁湯まで歩く。

*加仁湯の送迎バスもあるが、今回は利用しない。



再び長い名前の橋（鬼怒の中将乙姫橋）を渡って鬼怒川の左岸に・・・



川沿いの風景を楽しみながら上流を目指した。ところどころに現れる紅葉が目を楽しませてくれた。



13時
歩きやすい樹林にはいった。
温泉郷が近づいてきた。



再び川岸を歩く



13時15分
「加仁湯」一つ手前の「八丁の湯」を通過





13時30分

「鬼怒沼温泉 加仁湯」に到着



【閑話休題】加仁湯の敷地内に「春日野部屋合宿所」があった。

コロナ禍で2年ほどは合宿が行われていないそうだが、合宿期間は力士が汗を流しているそうだ。



【ラッキーな話】「加仁湯」では、10月11日から開始された全国旅行支援制度を早速利用できるという。

コロナワクチン接種証明を提示さえすれば宿泊代金が5000円安くなる。更に栃木県内で使える3000円分のクーポン（但し2日間のみ有効）までくれるという。

こんなチャンスを逃すことは無い。早速部屋に入って知恵を絞った。池戸さんは、スマホで接種証明が簡単にできた。他の3人は接種証明書となるものが自宅にある。写真でも、ファックスでもよい、何らかの方法で証明できるものを自宅から取り寄せなくてはならない。

田上さんは、色々な困難を乗り越えて息子のお嫁さんの協力を得て、スマホに証明書の写真を送ってもらえた。同じく吉松は、細君の必死の協力を得てラインで接種済みの写真を送ってもらうことができた。

さて、堀さん……。奥様が接種済みの券を探し当ててくれた。**やれうれしや**、堀さんは電話口で奥様を叱咤激励しながら写真を送ってもらうべく努力をしたのだが、**ア〜残念！！**

奥様にスマホで写真を送るやり方を教えてあげていなかったのだ。

今更悔やんでもどうにもならず、やむを得ず断念。

てな訳で、宿代が3人分で15000円安くなった。また、クーポン9000円分もゲット。

コロナワクチン接種券騒動が何とか一段落した。
一息ついたところで、加仁湯自慢の風呂に入ることにした。

内湯、野天風呂など色々あるが、お勧めの露天風呂に入ることにした。



宿の勧めで、メディアでも良く取り上げられるという自慢の露天風呂に入った。

前を流れる鬼怒川のせせらぎが聞こえ、風呂から紅葉を眺めることもできる。

歴史ある温泉場でもあるので、勿論混浴だ。

ほのかに硫黄の匂いがする。肌がつるつるになる日本一の美人の湯でもあるという。
先に入っている我々を気にせずに、バスタオルを巻いて入って来る女性もいた。



湯加減が良くてついつい長風呂になった。
その分、あとの生ビールは格別

窓の外には紅葉
堀さん持参の日本酒もぐいぐいと！



6時

豪華夕食

写真を撮り忘れたのが残念だ。

部屋で飲んだ生ビールと日本酒で酔いは回っていたが、夕食は全員完食



部屋に戻ったら、布団が敷かれていた。
布団に潜ったが最後、深い眠りについた。

足慣らしで歩いた 2 時間の間に、色づき始めた紅葉を楽しむことができました。
寒くなれば一日一日で紅葉は進んでいくのだそうです。明日の登山はさらに進んだ紅葉を楽しめそうです。